

# インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コクシカンダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) タナカゼミ
国土館大学	経営学部	田中ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) コクシカンセタマチシンコウカ	フリガナ) サカモト カケル	6名	無	
国土館せたまち振興科	坂本 翔			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

若林商店街のマップ

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

地域活性化

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

・活性化の狙い

大学の近くの決して人通りがたくさんあるとは言えない商店会を今よりもにぎわいのある場所にしたいと考えています。私たちのゼミナールは代々商店会の人と関わりがあり、学生の力で商店会を活性化させたいと依頼がありました。その商店会の方々と協力すればそれが実現可能であると考えました。

・活性化の目標

現在、私たちが活性化を行っている商店会は未だ栄えているとは言えませんが、魅力のあるお店がたくさんあります。そのお店の良さを手作りのマップや物産展・イベントなどを通して伝え、この地域を盛り上げることが目標です。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

私たちが主に活動している東急世田谷線の若林駅前の商店会は十数年前には国士舘大学の体育会系学生の寮があったため若林地区では一番栄えた場所でした。

しかし、体育学部が他キャンパスへ移動し寮がなくなってからはたくさんあったお店も少しずつ減っていきました。

現在では年に数回行われるお祭りのとき以外の平日、休日の人通りが少ないのが現状となっています。

## 3. 研究テーマの課題

・学校付近の商店街の活性化

若林駅を通勤・通学以外で利用する人が少ない。

隣の松蔭神社駅や豪徳寺駅のように若林中央商店会のみを取り扱ったメディア媒体がない。

地元の人や常連のお客様ばかりで新規の方が来ることは少なく、引っ越しシーズンが落ち着いた時期ぐらいである。

・物産展の開催

地元の方々にも認知度が低い。

数回物産展を開催したところで変わらないという意見もあったり、主に物産展で販売している「世田谷みやげ」の存在を知らない方が多く、物産展を開催するのもまだまだ課題が多いのが現状です。

## 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

商店会にどのようなお店があってどういうところなのか、若林中央商店会を知らない方々にその場所を知ってもらうための媒体としてマップを作成します。マップを作成チームが自分たちの足でお店に足を運び、インタビューを通してマップを作ります。

さらに、若林商店会のみを取り扱ったものを作ることで話題性を狙います。

また、広報チーム若林店会を始め、いろいろなイベントやお祭りで作成したマップを配ることで現状を変えられることを目指します。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、普段2つのグループに分かれて活動しています。

・マップ作成チーム

若林中央商店会の飲食店をピックアップして冊子タイプのマップを作成しています。

各店舗に事前アポをとり、インタビューをさせていただき写真撮影などをして、それをもとに作っています。

マップの作成は昨年先輩が行っており、前は観音開きタイプでしたが今年は新しく冊子タイプに挑戦しています。

また、インタビューで1つ1つの店舗に赴き、お店の方々との交流することで私たちの活動が地域の方々にもつなげていこうと考えます。

日本デザイナー学院の学生たちと協力することで学生が作ったものよりもクオリティーの高いものを作れるように目指しています。

・広報チーム

若林中央商店会内や地域のイベントやお祭りで物産展の開催をしています。

主に世田谷地区で作られたものやゼミナール全体で企業訪問させていただいた企業の商品などを取り扱っています。

その物産展などで作成したマップの配布、それと同時に自分たちが活動していることを地域の方々、大学生、ほかの地域に住んでいるの方々にも知ってもらうことが活動内容です。

## 6. 結果や今後の取り組み

この活動は始めたばかりで結果や変化がまだ目に見えていないのが現段階ですが、先輩方から受け継いできた活動を私たちも引き継ぎ、後輩につなぐことで時間はかかっても必ず結果は出ると信じています。

現在、インタビューは終了しており、デザインを製作中のマップを完成させ、印刷・配布までの流れまで持っています。

広報チームは今までと同様に物産展を開催し、地域のお祭りに参加することで私たちの存在や活動の認知度を高めていくと同時に若林の名を広めるためにより一層力を入れて活動していきます。

## 7. 参考文献

[http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H26/PDF/05Hakusyo\\_part2\\_chap2\\_web.pdf](http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H26/PDF/05Hakusyo_part2_chap2_web.pdf)

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返信いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**